

## 西本燐寸製連軸燐寸ラベル概要

1: 文書群番号	102042
2: 文書群名	西本燐寸製連軸燐寸ラベル
3: 出所	-
4: 家業・役職等	-
5: 地名	尼崎市別所／尼崎市御園町ほか
6: 行政区分	尼ヶ崎町／尼崎市
7: 歴史	<p>尼崎におけるマッチ製造業は、士族授産事業として小森純一らが興した慈恵社（小森燐寸製造所の前身）が契機であり、明治20年代に日清社・阿波燐寸製造所（のち小森燐寸が買収）・小嶋燐寸製造所（日清社を譲り受け創設）・尼崎燐寸製造株式会社（のち小森燐寸が買収）などのマッチ工場が創設される先導となった。関連産業として商標印刷工場、製軸専門工場、燐寸小箱製造場も設立された。明治34年（1901）以降は小森・小嶋両製造所の他社買収や統合により、数社併存の停滞状況から生産増大へと移行した。</p> <p>西本燐寸製造所は、『尼崎市勢』によると、「西本燐寸工場」として大正11年（1922）創業、所在地は“竹谷新田村”となっている。『市勢』に記載が見られるのは、大正12～15年調査分までであるため、大正15年～昭和2年（1927）の間に操業を停止したと推定できる。この時期は西本燐寸と藤武号（別所村、大正3年創業、昭和3年頃に閉鎖か）の2つの製作所のみであり、市内のマッチ産業は大きく衰退していた。</p>
8: 伝来	<p>古書籍商より本史料群を収集した辻川敦より、平成15年（2003）2月に史料館が寄贈を受け、17年1月に整理・目録作成を完了した。</p>
9: 史料入手先	辻川敦（地域研究史料館職員）
10: 点数	5点（目録件数5件）
11: 年代	大正期
12: 構造と内容	<p>本史料群は、連軸マッチのケース5点（うち公益広告入りケース3点）からなる。公益広告には、「押すな離るな割込な」「一人範を示して衆人感化す」「無理乗は命とり」「人へ人道諸車は車道ノ左側ヲ通行」「左歩めば安全で早い」などの文言がみられる。大正期頃に煙草専売制のもと、煙草店や駅売店にて広告燐寸の需要が増大したと言われてい</p>
13: 関連史料	伊丹燐寸株式会社人足札
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	近藤浩二